



パートナーシップ宣誓証明制度はじまります

自分らしく生きる



さまざまな生き方や価値観を認め合い
 だれもが自分らしく
 生きることができるまちへ

知ることからはじめよう

HP 69920397

男女だけではない **多様な性** がある

皆さんは、『性的マイノリティ』という言葉を知っていますか？
 「性」というと、男性と女性の2つしかないように思う人がいるかもしれませんが、実際には「同性を好きになる」「男性も女性も好きになる」「自分の性が決められない」など、多様なセクシュアリティ(人間の性)があり、これらを総称して『性的マイノリティ』と表現します。

調査によって異なりますが、人口の3.3%~8.9%の割合で存在すると言われています。 (※)出典「電通ダイバーシティラボLGBT調査(2018)」、「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート(2019)」

性にはさまざまな要素があります

性自認 Gender Identity
 自分で認識する自分の性別

性表現 Gender Expression
 服装、しぐさ、言葉づかいなど

性的指向 Sexual Orientation
 どういった性別の人を好きになるか

生物学的な性 Sex
 身体の性、身体的性別特徴、遺伝子、ホルモン、外性器など

L レズビアン (女性を好きになる女性)	性的指向 (SO)
G ゲイ (男性を好きになる男性)	
B バイセクシュアル (男女どちらも好きになる人)	ヘテロセクシュアル (異性愛者)
T トランスジェンダー (出生時の性別とは異なる性別を生きる/生きたい人)	性自認 (GI)
Q クエストショニング (性的指向や性自認が分からない人/決めたくない人等)	
クィア (当事者が自分たちを肯定する言葉として使われている)	シスジェンダー (出生時の性別と性自認が一致している人)

※上記以外にも、多様な性(セクシュアリティ)があります

LGBTQとは

「性的マイノリティ」の総称として使われることがあります。「LGB」は「性的指向」、「T」は「性自認」を表すもので、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエストショニング、クィアの頭文字をとった言葉です。

SOGI(ソジ)とは

「性的指向」と「性自認」を指す言葉で、だれもが多様な性を生きる一人だということを示しています。性的指向と性自認はだれもが持っている、「同性を好きになる」「異性を好きになる」ことも性的指向の一つです。また、自分は「女性・男性」という性自認のほかにも「性別が分からない」「性別を決めたくない」等の多様な性があります。

多様な性を尊重し

だれもが **自分らしく** 生きられる社会へ

性的マイノリティ当事者は、職場や学校、地域等で周囲から理解を得られないことが多くあります。差別やいじめを受けることもあり、だれにも相談できずに生きづらさを感じ、自殺を考えたことがある人の割合の高さも指摘されています。

だれもが自分らしく生きることができるよう、多様な性を理解し、尊重することが何より大切です。

4月から **性の多様性に関する取組**

市は、4月から「性の多様性に関する取組の方針」に基づき、性の多様性への理解への取組を進めます。

24時間365日受付
事前予約制

パートナーシップ宣誓証明制度

一方または双方が性的マイノリティである2者の関係で、互いを人生のパートナーとして、日常生活で協力し合うことを宣誓した人に、市が「パートナーシップ宣誓書受領証」を交付します。この制度で、市営住宅の申込などができるようになります。



性的マイノリティ電話相談

0798・68・6720 (毎月第2土曜午前10時~午後1時)

性に関するさまざまな悩みごとに応じます。性的マイノリティ本人だけでなく、そうかもしれないと感じる人、家族や友達、学校や職場関係者からの相談も受付(秘密厳守)。

リーフレットや職員向けハンドブックを作成

性の多様性への理解を深めるために、啓発リーフレットや職員向けのハンドブックを作成します。

このほかの取組やパブリックコメントの実施結果の詳細は、市のホームページ(ページ番号:69920397)をご覧ください

問 男女共同参画推進課 (0798・64・9495)